

◇ 北海道穂別高等学校 ◇

〔本校の概要〕

本校は、恐竜の町として売り出し中の、むかわ町穂別地区にある全日制普通科1間口の学校である。「鵜川町」と「穂別町」が合併して11周年を迎える本町は、少子化の進行が顕著である。また、本校は公共交通機関を使って通学することが困難であるため、全校生徒の約半数は、町立の「穂星寮（すいせいりょう）」から通学している。

寮生の多くは、中学校時代に不登校を経験し、特別な支援を要する生徒も多く存在している。だが、日常的に教育相談を行い、教職員はもちろん、スクール・カウンセラー、パートナー・ティーチャー、及び学校サポーターが丁寧に対処することにより、多くの生徒は元気に登校している。



〔本校PTAの事業計画と活動状況〕

例年、本校では、PTA だより発行のほか、多くの学校では生徒だけで行われる学校祭・体育大会・屋内競技大会へ保護者の参加が見られている。生徒とともに保護者も参加することにより、思春期の子供が親には見せない表情を見ることができる、貴重な場となっている。

さらに今年度は、第69回北海道高等学校PTA連合会大会（胆振・日高大会）において、第211分科会の運営を担当した。「知りたい知らせたい学校の姿～PTAのあり方と活性化～」というテーマで、積極的なグループ討議に参加者の皆さんに行っていただき、今後のPTA活動の活性化の糸口が見える貴重な時間となった。

